8. 独立行政法人 建築研究所講演会

期 間 : 平成21年3月6日(金) 10時00分~16時30分

会 場 : 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)

主 催 : 独立行政法人 建築研究所

聴講者数 : 463名

プログラム

○急変する社会・経済情勢と建築研究所の活動 10:00-10:20 理 事 長 村上 周三

◎第一部 : 安全・安心な住宅・建築・都市の構築に向けて

○2008年中国・四川大地震における建築物被害調査報告 10:20-10:40 構造研究グループ上席研究員 福山 洋

〇人口減少社会における地域が主体的に行う居住地の維持、管理、整備方法 質疑応答

10:40-11:10 住宅・都市研究グループ上席研究員 岩田 司

○IC タグを活用した生産情報管理による建築物の信頼性の向上 質疑応答

11:10-11:30 材料研究グループ上席研究員 中島 史郎

○インデクシング・セッション 11:30-12:00

昼休み・パネル展示・コアタイム 12:00-13:20

◎第二部:建築分野における低炭素社会づくりに向けて

○超長期住宅先導的モデル事業評価の紹介 ~長期優良住宅促進法の動向も踏まえ~

13:20-13:35 超長期住宅先導的モデル事業評価室長 本橋 健司 13:27-13:45 地位 13:27-13:45 本橋 健司

○住宅・建築物省 CO2 推進モデル事業評価の紹介 13:35-13:45 住宅・建築物省 CO2 モデル事業評価室長 澤地 孝男

○ヒートアイランド緩和に資する都市形態の評価手法の開発

13:45-14:15 環境研究グループ上席研究員 足永 靖信

○既存住宅の省エネルギー改修に関する研究 14:15-14:40 環境研究グループ上席研究員 桑沢 保夫

休 憩 14:40-15:00

◎特別講演

「環境の中の建築」 15:00-16:30 建築家・慶應義塾大学教授 妹島 和世

パネル展示 コアタイム (12:00~13:30)

建築物に作用する津波荷重のシミュレーション 構造研究グループ上席研究員 奥田 泰雄 竜巻発生装置を活用した突風ハザードの評価 構造研究グループ主任研究員 喜々津仁密 鉄筋コンクリート造そで壁付き柱の構造性能評価に関する研究 構造研究グループ研究員 田尻清太郎 既存単独処理浄化槽対策に資する節水型排水浄化システムの開発 環境研究グループ上席研究員 山海 敏弘 火の粉による飛び火の実験的解明 防火研究グループ上席研究員 林 吉彦

既存建築ストックの再生・活用のための空間可変性および耐久性確保技術の開発

材料研究グループ主任研究員 濱崎 仁 住宅・都市研究グループ上席研究員 有川 智

住宅取得プロセスに関する消費者実態調査 住宅・都市研究グループ」

市街地の災害危険性を評価するための省コストなデータ整備手法の開発 住宅・都市研究グループ上席研究員 寺木 彰浩 ロジックモデルによる建築物の耐震改修普及の阻害要因の検討 国際地震工学センター上席研究員 齊藤 大樹